

ごとう通信

第 253 号

令和 4 年 1 月 1 日

明けましておめでとーございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年も東京で新年を迎えることになってしまいました。なかなかコロナ時代が終わってくれませんが、そろそろですね。今年中には帰省できるのではないかと考えています。

さて、昨年は「パタカせんべい」を発売することができました。これからも何かそういった社会の役に立つ商品作りができるといいなあと思っています。そこで少し考えてみました。僕自身はそんなにこだわりはないのですが、年末になると必ずお餅の話題が出ます。「お餅食べてもいいですか?」「お餅で入れ歯が外れるん

ですけど」などなど。正直、それなりの専門職から言うと、ある程度の年齢の方や、飲み込みの機能が少しでも低下した方などは食べないでほしいと思います。

実際事故も起きてい

ますし。そこで、安全

なお餅ってできない

かと。

以前、この通信で



「おかゆ大福」という商品を紹介しましたが、やはりお餅とは違います。焼いたり、お雑煮に入れたりとかできるもので、お餅の良さが残っているながら安全なものでなければなりません。

そこで、新しいお餅開発がスタートしました。と言っても僕が作れるものはありません。老舗の和菓子屋さんとの共同企画です。まだまだ

どのようなものができるのか想像もできませんが、僕自身も楽しみにしています。

年賀状

皆さん、年賀状は出されましたか? 一昨年は喪中で出せませんでした。そして継続してきたものが途切れてしまったことで何となく消極的になってしまいました。昨年はお出せませんでした。「SMSで多くの方とつながっているし、わざわざ紙の年賀状なんていらんか」とも思いました。しかし、頂くばかりで返信しないので後ろめたい気持ちも。

そこで今年、いきなり復活! まあ、帰省しないことになったので時間も